

ミニゼミ特集

第 63 回
第 62 回

「北恵那鉄道はなぜできたか！」

くむかしから今を考えてみよう！

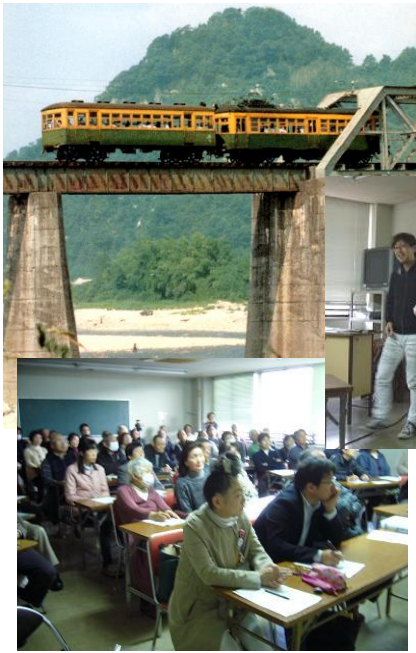
講師中京学院大経営学部教授関谷次博博士
平成二十八年二月十四日、六十七人の参加で開催されました。

大正十一年北恵那鉄道株式会社創立
昭和五十三年 廃線

◆なぜ作られたか？

- ① 大同電力（現関西電力）の大井ダム建設がきっかけに
- ② 当時の鉄道施設法・地方鉄道補助法が後押しに
- ③ 地元住民の悲願であった。資本金の六割を地元民が保有、中津町で347人、福岡村で230人

役立ちたいと言う意識が住民に芽生えていた。



公共施設の維持は赤字であっても、真に必要なものは、すぐに廃止にするのではなく、知恵を出して持続していく努力が将来を考えた時に重要なこと。特に鉄道は廃線後の再構築はまず不可能である。利益を受ける人たちがお金をだせる方法を考えることが必要。人の集まる公共施設は年齢の広い層の人々のコミュニティの維持・育成の場に必要施設であることなど、北恵那鉄道の成り立ちから今を考えることが出来た有意義な時間でした。

関谷先生の著書「費用負担の経済学」

「私たちの身近な紙の話」

講師 捫垣 勉さん

平成二十八年一月三十日、四十四人の参加で開催されました。

紙の歴史、紙の発明と作り方、紙の見分け方、紙の性質、身近にある紙の種類と特徴など、映像を見ながら説明を聞きました。また釘が打てる硬い紙の現品など手に触れることもできました。

「歯磨きチューブが紙で出来ていることにはびっくりしました。」の声も聞かれました。



図書館でミニ映画会

◆二月展示「中津川における映画の歴史と展望」に関連させて、館内会議室にて、十三、二十、二十七日の三回、ミニ映画会が開催され延べ40名の参加でした。

上映された映画は、名古屋が舞台の短編小説「第七回受賞作品」大賞の「八月十六日の散歩」などの三作品です。

最終日の二十七日は、北恵那電車運行DVDも上映されました。「北恵那鉄道はなぜできたか！」のミニゼミでも、講演後に上映された。会場からは“懐かしい”などの声が多く聞かれました。

なお、本企画はシネマ栄座のご協力により実現しました。また、ミニゼミ当日北恵那交通(株)より当時の時刻表や絵葉書の提供があり。参加の皆様にご配布しました。



- ◆三月のミニゼミは、二十七日(日)「中山道史跡めぐり」です。
- ◆四月のミニゼミは、十七日(日)「フルート&ピアノ&バイオリンのミニ演奏会」

展示コーナー

☆三月の展示は、「郷土の味自慢！」

市民協働課・商業振興課とのコラボ展示です
今回は第一回目として加子母・付知・福岡
地区を中心に、伝統のあるいは親しまれてい
る味自慢の紹介です。



☆二月の展示は、「中津川における映画の歴史と
展望！」

にぎわいシネマ 栄座の皆さんによる企画
展示です。



☆ 四月の展示は、「障がい者差別解消法を
考えよう！」

市障害援護課とのコラボ展示です。

図書館司書・職員

インタビュー 18

安江孝典さん

一九八八年生まれ、水泳が趣味の青年で
す。昨年五月からこの図書館に勤務して
います。

図書館での主な仕事は
学校への配本・延滞本の督促・カウ
ンターでの仕事です。

好きな本のジャンルは時代もの、藤澤
周平・池波正太郎の作品はよく読むそう
です。

お勧めの本として伊坂幸太郎「陽気な
ギャングが世界を回す」今野敏「任侠学
園」マイケル・ブース「英国一家日本を
食べる」などを紹介してくれました。

図書館がより多くの人に利用され、た
くさんの本が読まれるといいと思っ
ています。

和やかな雰囲気を利用者の方も和
やかで、とてもいい雰囲気の中、毎日
が濃密で充実していますと、元気に語
っていました。



山口図書室

「中津川市の資源の活用を考えてみよ
う！」市の80%を占める森林について



川上図書室「防災と鳥獣害対策」



山口・坂下・川上の各公民
館図書室の展示です！

坂下図書室

「トンネルを抜けるとそこは里
山であった」加子母地区特集



会員 募集中！

図書館で一緒に活動しませんか！
図書館くらぶでは、展示作業やミニゼミ、
パソコン作業など、得意な分野の活動が
出来ます。

会長 桑澤 宏康

TEL 66-0249